

令和8年度「広報こまつ」印刷製本業務 評価基準及び審査 総合得点結果

評価項目	A社	B社	C社
1. 編集・デザイン・レイアウト			
(1)[コンセプト] 業務のコンセプトを十分に理解して編集しているか (満点 10点)	7	7	7
(2)[コンセプト] 住民目線で、最後まで読んでみたいと思わせる工夫があるか (満点 10点)	6	7	7
(3)[デザイン] 内容やテーマのイメージに合ったデザインになっているか (満点 10点)	6	8	8
(4)[デザイン] 誰にとっても見やすい紙面づくりの配慮があるか (満点 10点)	7	6	6
(5)[レイアウト] 紙面全体の記事・写真・余白などの配置はバランスが取れているか (満点 10点)	7	7	8
(6)[レイアウト] タイトルや見出し、リード文の大きさ、行間、配置は適正か (満点 10点)	7	7	7
(7)[写真・イラスト] 写真やイラストの分量、使い方は適切か (満点 10点)	7	7	8
(8)[色使い] 4色刷りを生かしつつ、見やすく工夫しているか (満点 10点)	8	8	7
(9)[色使い] 目にやさしい紙面づくりに配慮しているか (満点 10点)	7	7	7
小計(2)	62	64	65

2. 独自提案の魅力性			
(1)[提案価値] 小松市にとって有意義で、効果的な提案となっているか (満点 10点)	5	8	8
小計(1)	5	8	8

3. 費用面			
見積額が低い業者から順に価格点「10点(1位)」「8点(2位)」「6点(3位)」「4点(4位)」を加点する。	6	8	10
小計(3)	6	8	10

合 計 (1)+(2)+(3)	73	80	83
	3位	2位	1位

<審査講評>

A社	<p>2～3頁の全体の写真のバランスにもう一つ工夫があればよい(特に3頁)。 4～5頁の構成は目にも優しく分かりやすい。 レイアウトやデザインが学校配布物のようなイメージで、分かりやすいがやや単調である。 レイアウトやフォントのチョイスがやや古く感じた。 4～5頁の色、写真、レイアウトが少しうるさい。 若い世代にも興味を持ってもらえそう。 写真の使い方やレイアウトにもう少し工夫がほしい。 色彩豊かで、イラストも可愛く読んでいて元気が出ます。</p>
B社	<p>表紙、2～3頁がシンプルかつ見やすい紙面になっている。 色やレイアウトは見やすい。 フォントが独特だが、何度も使われていることで逆に単調になってしまい、文字は読みにくくなってしまっている。フォントが改善されるならば、レイアウトやイラストなどは若者にもウケそうで良い。 2～3頁を開いた時のページのインパクトがとても良い。色味も使いすぎず、まとめられていた。反面、どれが一番読ませたいかがわかりづらい。 採用していた紙質は良かった。開いてみたくなったが、イラストの使い方などがもう少し工夫がほしい。 メインの写真が大きくページをめくった際の迫力があり、印象に残りやすい。</p>
C社	<p>表紙が里山に見えない。 全体的に写真・文字の配置等にもっとメリハリがあると良い。 落ち着いた印象で、ややシニア向けのように感じられ、若者への訴求が弱いのかもしれない。ただ最も見やすく、レイアウトも分かりやすい。 表紙の写真のチョイスがいかにもな感じで少し残念。 2～3頁から4～5頁のデザインテンションの変化が面白い。 余白の使い方が3社の中では見やすかった。写真のレイアウトも工夫されている。 必要な情報をすっきり見せ、文章が読みやすい。「継ぐ」「つなぐ」のコンセプトを写真を横断させていくことでうまく表現できている。</p>
全体	<p>昨年に引き続き全体的にデザインがよくなっていると思う。テーマが自然ということもあってかどの世代も読みやすい色づかいになっている。 講評はあえてというならという視点で書いているが、3社とも大きく差はないと考える。付加価値提案においてC社は独自性があったが、紙ベースの広報だけではなく、この広報と他媒体が連携するやり方を考えていく必要があるのではないか。</p>